

第5回小田原市市民活動推進委員会 会議録

- 1 日時：令和2年2月12日（水）午後5時15分～午後7時45分
- 2 場所：おだわら市民交流センターUMECO 会議室2・3
- 3 出席者：前田委員長、益田副委員長、日下部委員、福田委員、加藤委員、善波委員、林委員、米山委員、柏木委員
関係者：UMECO指定管理者 露木センター長、椎野副センター長、奥津氏、桂氏（議題（4）以降）
事務局：府川課長、森係長、岡崎主査、樽木主事
- 4 欠席者：吉澤委員
- 5 資料：
 - ・次第
 - ・資料1 令和3年度実施分小田原市市民提案型協働事業応募の手引き
 - ・資料2 令和元年度おだわら市民交流センターUMECO運営評価の流れ（案）
 - ・資料3 市民活動団体と学校との連携に関するアンケート調査について（案）
 - ・資料4-1 令和2年度おだわら市民交流センターUMECO実施予定事業
 - ・資料4-2 令和2年度UMECO事業一覧と実施時期
 - ・資料6-1 令和2年度小田原市市民活動応援補助金第2次審査実施要領（案）
 - ・資料6-2 令和2年度小田原市市民活動応援補助金第2次審査採点表（見本）

6 会議内容

■ 開会

副委員長：ただいまから、第5回小田原市市民活動推進委員会を開会する。

本日は、委員長が所用のため1時間ほど遅れるとのことであるので、不在の間は私が議長を務めさせていただきます。

本委員会の会議は原則公開となっているが、議題（5）市民活動応援補助金について①第1次審査は、市民活動応援補助金の書類審査を実施するにあたり、市民の間に不当な影響が生じないようにし、かつ特定の者に不当な利益又は不利益を与えないようにするため、小田原市情報公開条例第24条第3項に基づき「非公開」とする。

■ 議題（1）市民提案型協働事業について

副委員長：それでは、議題（1）市民提案型協働事業について、説明をお願いしたい。
（事務局 資料1に基づいて説明）

副委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委 員：募集期間が4月1日からで、配布も同日からということだが、団体からは「もっと早く周知してほしい」等の意見はないのか。

事務局：そういったご意見は今のところ把握していないが、現在、通年で使用できるチラシを作成しているので、今後は時期を問わず、団体に制度を周知してまいりたい。まずは、今週末にUMECOで開催するNPOマネジメント講座において配布したいと考えている。

副委員長：そのチラシは、常時UMECOに配架するのか。

事務局：UMECOにも、可能な範囲で協力を依頼する予定である。

■ 議題（2）おだわら市民交流センターUMECO第三者評価について

副委員長：それでは、議題（2）おだわら市民交流センターUMECO第三者評価について、説明をお願いしたい。
（事務局 資料2に基づいて説明）

副委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委 員：事業ごとに第三者評価シートを作成するのではなく、もっと総括的に評価するということではどうか。前回の各委員の意見は、特定の事業について言及したのも見受けられた。

事務局：それぞれの事業が主にどの機能に対応するものかを資料で確認いただいた上で、総括的に

機能ごと、コンセプトごとに評価するもので、第三者評価シートは委員1人につき1枚作成いただくこととなる。

■ 議題（3）諮問事項「市民活動団体の力をまちづくりに生かす方策について」

副委員長：それでは、議題（3）諮問事項「市民活動団体の力をまちづくりに生かす方策について」、説明をお願いしたい。

（事務局 資料3に基づいて説明）

副委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委員：学校との調整においては、アンケート内容が修正されることもあるのか。

事務局：事務局としては、校長会においてアンケートを確認いただいた上で配布したいと考えており、その時点で修正が入る可能性はあると思われる。

委員：校長会の指摘による修正については事務局に一任し、後日委員会に報告いただければよいのではないか。

副委員長：それでは、現時点では、学校へのアンケートは原案のとおりとし、校長会との調整による修正を事務局に一任、後日委員会に報告いただくということによろしいか。

（異議なし）

副委員長：それでは、原案のとおり事務局において進めることとする。

■ 議題（4）おだわら市民交流センターUMECO令和2年度事業計画について

副委員長：それでは、議題（4）おだわら市民交流センターUMECO令和2年度事業計画についてに入る。本委員会は、議事に関係のある方へ出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。本議題に関し、おだわら市民交流センターの指定管理者にお越しいただいているので、ご説明をお願いしたい。

（指定管理者 資料4-1、4-2に基づいて説明）

副委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

UMECO企画展で、常時アンケート調査を実施するとあるが、対象はどのように想定しているのか。また、調査票の配布方法は。

指定管理者：来場者からの感想や要望をいただく想定であり、今年度も実施している。調査票については会場に設置している。

委員：積極的にアンケートに回答いただけるよう、参加団体に依頼しているのか。

指定管理者：特に依頼していない。

委員：アンケート回答数が少ないという課題意識をお持ちである。少ない母数から傾向を分析すると偏りが生じてしまうので、回答を奨励する仕掛け作りや声かけをしてはどうか。

指定管理者：検討したい。

委員：参加団体へのアンケートは実施しないのか。UMECO祭りなど、次回企画への反映を目指して意見をいただいた方がよい。

指定管理者：UMECO祭りにおいては、参加団体にもアンケートを実施している。

副委員長：UMECO企画展は、来館時には展示を拝見するようにしているが、アンケート調査をしているというのは気付かなかった。UMECO企画展のために来館する人は少ないと思われるし、回答者にも偏りを生じるだろう。ボードにシールを貼るだけなど、目立って誰でも回答しやすくなる工夫が必要と考える。

指定管理者：検討したい。

委員：相談業務において、職員の研修を重ねるということであるが、対応のスキルについてか、知識についてか。

指定管理者：スキル面、知識面のどちらの研修も充実させたい。

副委員長：どのように実施する予定か。

指定管理者：例えば、窓口対応時に同席したり、定期的実施している内部の勉強会でテーマとして取り上げる、といったことを考えている。

■ 議題（5）市民活動応援補助金について①第1次審査【非公開】

■ 議題（５）市民活動応援補助金について②第２次審査について

委員長：それでは、議題（５）市民活動応援補助金について②第２次審査について、おだわら市民交流センターの指定管理者から説明をお願いしたい。

（指定管理者 資料 6-1、6-2 に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委員：公益性の点数は第１次審査から引き継がれるということであったが、あらかじめ自分の採点した数字が印字されており、委員それぞれで異なった採点表が配布されるということによろしいか。

事務局：そのとおりである。

補足であるが、今年度からは指定管理者の専門性を生かすために、UMECOの協力を受けながら補助金制度を運用しており、事前の相談対応、書類受付から引き続き、プレゼンテーション当日の司会進行や集計作業もUMECOを中心に行う予定である。

委員：プレゼンテーションの順番に採点し、順次事務局が採点表を回収するとのことだが、多くの団体を評価する中で、自身の採点を修正したいこともあるだろう。その場合は、修正して差し支えないのか。

委員長：修正して差し支えない。全てのプレゼンテーションが終わってから採点すると時間がかかることから現行の方法としているが、事務局で採点表を回収後に、写しを各委員に配布するので、修正したい場合は赤字で見え消しにしていただければよい。

委員：予算額との兼ね合いについて、現在議案として上程しているが、本補助金の予算要求額は200万円である。これを超えた部分については、第２次審査で不通過となるのか。

事務局：そのとおりである。なお、令和２年度分から指定管理者において、寄附金を原資とするUMECO市民活動応援補助金制度を創設した。小田原市市民活動応援補助金の第２次審査で、予算額が足りないために不通過となった事業についても、指定管理者の判断において資金面での支援が受けられる可能性がある。

委員長：今回の市の補助金募集時に、団体からUMECOの補助金に係る意向確認書をいただいているが、全団体がUMECOの補助金交付を希望している。

指定管理者：UMECOの補助金についてはこちらで交付対象を最終決定するが、その判断にあたっては本委員会の審査結果を参考にさせていただきたいと考えている。

事務局：審査結果にもとづき上位事業から市の補助金を割り振っていくことになると思うが、補助金の交付を受けられる水準の事業であっても、希望額の全部又は一部の交付を受けられない事業が出てくるかもしれない。こうした場合に、UMECOの補助金を活用し、支援できる可能性がある。

指定管理者：本委員会の審査結果と全く同じ判断をUMECO側でするとは限らないので、その点はご了承ください。

委員長：もちろん、UMECOの制度であるので、その判断を尊重したいと考えている。

委員：第２次審査の結果、補助金を交付すべき水準にある事業が極端に少なかった場合は、市の予算に不要額が生じてもよいのか。

委員長：第２次審査において、総合評価が一定の得点に達しなかった場合は、予算に残額があっても不通過としている。

事務局：その場合のUMECOの補助金であるが、本委員会における評価が一定未満の事業に資金支援すべきかという問題が生じるので、齟齬がないように情報を共有し、それを踏まえてUMECO側で決定していく必要があると考えている。

■ その他

委員長：その他について、事務局から願います。

（事務局 今後の会議日程の調整）

※調整の結果、今後の会議日程は次のとおりとなった。

第６回委員会 …… ３月８日（日） 終日 UMECO

第７回委員会 …… ５月２０日（水） 午後３時～ けやき

第8回委員会（提案型協働事業・市民活動応援補助金交付事業報告会）

・・・7月4日（土）午後 UMECO

第14回委員会（市民活動応援補助金公開プレゼンテーション）

・・・令和3年3月13日（土）または14日（日）終日 UMECO

■ 閉会